

—探究を通じて自己創造を！ 挑戦する勇気を！—

課題を主体的に発見・思考・解決し、新たな価値を創造できる人材育成プログラムの研究開発

令和7年度 SSH 成果発表会・運営指導委員会

2026年3月10日（火）

学校法人松商学園 すべての学校から参加者が！

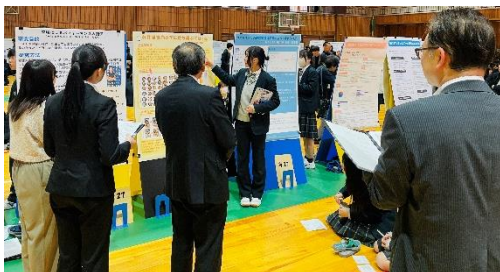
3月10日（月）に、SSH 成果発表会を実施し、併せて運営指導委員会が行われました。成果発表会では本校生徒のみならず、近隣4校の中学生28名が参加しました。また、本校通信制課程より2名、松本大学より3学部12名と大学院生13名、さらに秀峰中等教育学校より1名が参加し、学校法人松商学園すべての校種が参加するという本学園の探究教育を中心とした学びの一大イベントとなりました！保護者、教育関係者43名にも見ていただき見学交流をしました。皆様のご指導やご支援を積極的に取り入れつつ、SSH 事業を推進させ、生徒や地域に還元していきます。（本校発表作品数 2年生80品、1年生66品）

◆閉会行事での、松商学園代表による口頭発表内容

国際共同研究(タイの高校との共同研究) ※英語発表

「The difference of microorganisms and water quality of water sources between Japan and Thailand」

発表者：1年12組 大澤心/木口百華/木村心春

**●生徒の皆さんの感想より**

- ・大学生の発表がとても勉強になった。発表の仕方やポスターがとても分かりやすかった。
- ・何を伝えたいのかをとっても考えました。自分の中で当たり前になっている言葉や内容をどうやったら伝わるのか真剣に考えました。
- ・とても活気のある発表会だった。人も多く、発表したり質問に答えるのが楽しかった。

◆第2回運営指導委員会

運営指導委員会では、SSH 事業について報告を行い、専門的見地から貴重な助言をいただきました。成果発表会については、「法人全体を巻き込んだ大規模な取組であり、生徒の発表力が向上している」と高く評価されました。特に、聴衆を意識した発表や質疑応答への対応など、探究を通じた成長が確認されました。また、本校の4本柱については一定の成果が認められる一方、「分野間の接続を意識した事業設計」の重要性が示されました。これらを踏まえ、次年度は対話的な学びの充実や分野横断的な学習の強化に取り組んでまいります。

●次年度に改善を図る点

- ・発表後のディスカッション機会の拡充
- ・文理選択支援および保護者への情報発信の強化
- ・データサイエンスとグローバルを結びつけた国際比較の設計
- ・放課後「SSラボ」による探究の深化

最近の SSH 活動

地層を読み解く力を養う —地質学巡検—

東京学芸大学と連携した地質学巡検を行いました。現地では、教科書で見てきた地層を実際に観察し、その成り立ちや変化を自分の目で確かめる貴重な機会となりました。

特に印象的だったのは、観察結果をもとに白地図上で地層の広がりや立体的に推論する活動です。限られた情報から地下の構造を三次元的に考える作業は難易度が高く、生徒たちは議論を重ねながら仮説を組み立てていきました。

当日は大学生が TA (アシスタント) としてサポートに入り、専門的な視点から助言を受け学びを深めることができました。海を渡った 2 カ所で調査し、最終的には各自が成果物としてまとめを作成し、学びを確かな形に残しました。現地で“ほんもの”を見て考え、根拠をもとに説明する一連のプロセスは、まさに探究そのものです。教科書の知識を「使える知識」へと変える、非常に充実した巡検となりました。



東京大学で宇宙に挑む —天文学実習—

東京大学にて、本校生徒が天文学実習に参加しました。本実習は、他の SSH 校である韮崎高校や諏訪清陵高校の生徒と合同で実施され、学校の枠を越えた学びの場となりました。

研究者による講義では、宇宙の構造や銀河の広がりについて学び、その後の実習では「視角」や「銀河の大きさ」をもとに、宇宙の年齢を自分たちで導き出す課題に挑戦しました。正解が一つではない難しいテーマに対し、グループで何度も議論を重ねます。

特に印象的だったのは、初対面同士の生徒が学校の違いを越えて議論を深めていった点です。夜遅くまで続いた議論では、互いの考えをぶつけ合いなが

ら新たな視点を得ていく姿が見られました。「答えの出ない問い」に向き合い続ける経験は、教室では得られない大きな学びとなりました。

本実習は、本校 SSH の掲げる「探究力の育成」を象徴する取り組みです。他校の仲間と切磋琢磨しながら未知の課題に挑む経験は、生徒たちの視野を大きく広げ、今後の探究活動へと確実につながっています。



データを「伝える形」に —Tableau 講座—

データサイエンス教育の一環として BI の一つである「Tableau Public」を活用した特別講座を実施しました。講座では、実際のデータをもとに、情報を分かりやすく可視化する方法を学びました。

BI (Business Intelligence) : データを集めて分析し、意思決定に役立てる仕組み

これまで生徒たちは、データを集めることには慣れてきましたが、「どう見せるか」「どう伝えるか」という点には課題がありました。本講座では、グラフや図を工夫することで、複雑なデータでも一目で理解できる形に変換できることを学び、オープンデータを用いて実際に可視化に挑戦し、より伝わる表現を追究しました。「同じデータでも、見せ方で印象が変わる」という気づきは、探究活動において大きな意味を持ちます。

専門家の指導のもとで進められた本講座は、データを根拠として活用する力、そしてそれを他者に伝える力の両方を高める機会となりました。今後の課題研究においても、データを「集める」だけでなく、「分析し、伝える」までを一体として取り組む力の育成につながっています。



学校法人松商学園

松商学園高等学校

SSH の活動はホームページに掲載されています

<https://www.matsusho-h.ed.jp/>

